

R・サスペンション下部ラバーフッシュ交換作業 BMW R50-R69S

サス・ユニットはスイングアームの円運動により沈み込むと微妙に傾斜します。

そのため上下サス固定部は可動にする必要があります。旧タイヤを含め多くのモデルはラバーフッシュやサイレントブロックと呼ばれるダンパー部品が装着されています。走行中は絶えず車重が掛かっているため経年で芯がズレ、ゴム層が破壊されはみ出すこともあります。ゴム部品なのでダンパーオイルが漏れ出せば付着してゴムは膨潤し溶け出します。



芯ズレ



スペーサー剥離



損傷品(上4個)と新品(下2個)



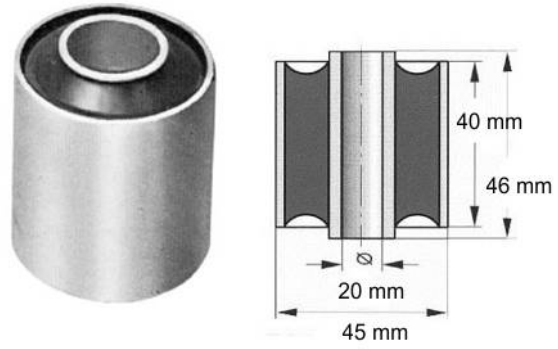
固定ボルトの大径ワッシャーがサス・ボディーと接触している



放置すると衝撃吸収不能となり・・・

またフッシュ抜けを防止する安全策のためフッシュ外径より大きい厚肉のワッシャープレートが装着されますがフッシュの芯がズれることでボトムケースに接触するので乗り心地が悪くなり安全面でも不安が残ります。

CRIMECA



サイレントブロック(M12 R・サス下部用)

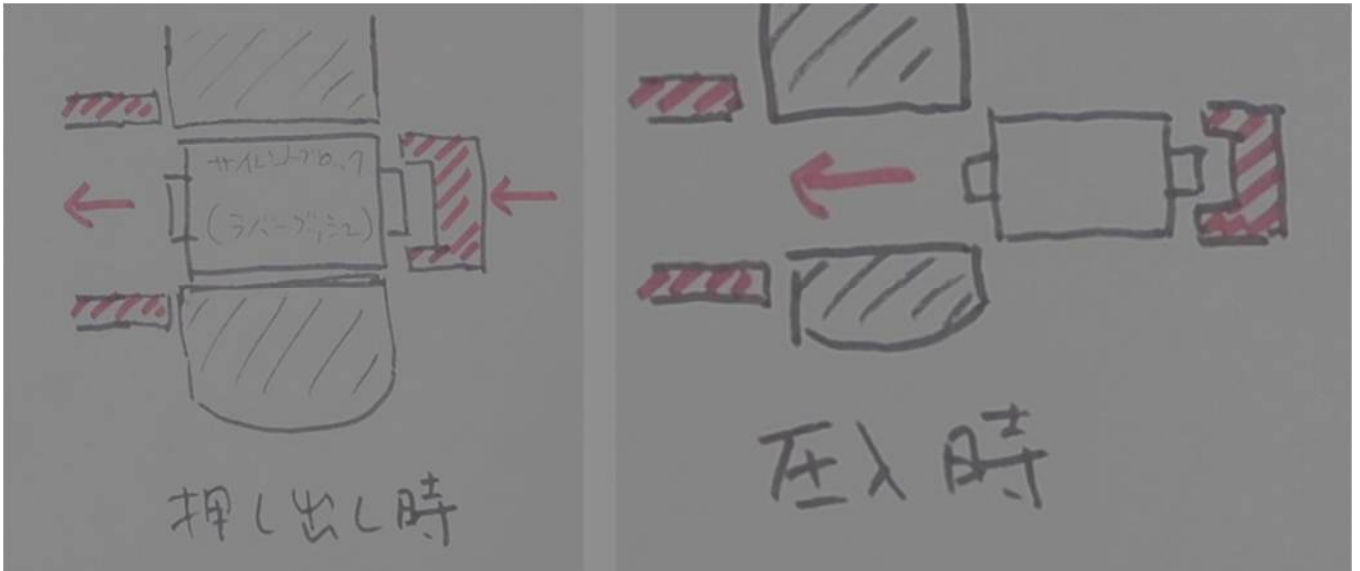
形状と構造(参考)

ラバーフッシュは補修部品として流通していますがコト/2のリアはユニット自体を外すことが
 けっこう面倒で困難なため交換時期を逸して不安定な状態で乗り続けることになりかねません。

このたび車載状態で交換できるよう専用工具を設計・製作しました。



クリメカ特製脱着工具 (押しコマ先端部は焼き入れ処理)



作業概念図 : 旧部品取り外し / 新部品圧入



作業ヒント ファーストコンタクト

もっとも慎重な作業を要する工程は損傷した古いフッシュを押し出す時です。

ラバーフッシュ外径とコマ外径が合わないと押し出し困難となるのでコマが少し入った時点で

一旦ネジ込みを緩め 再度コマをフロック外径に正しく合わせることで整列が合い、スムーズに

ネジ込みが可能となります。ゴムがはみ出て邪魔する場合はカッターなどで切り取ります

新品ラバーフッシュに大きく面取りしているサイドがある場合はこの面を圧入面にとすると

作業がスムーズに行うことができます。

作業風景 マフラーもタイヤの取り外しも不要です(サイドカー付きも可能)



左側サスペンション



右側サスペンション

ご要望があれば工具の販売もいたします。

サイレントフロック脱着工具 ￥28,000 消費税別 受注生産品

CRIMECA